

令和4年度第1回 稲武地域まちづくり推進協議会 議事録

日時	令和4年4月19日（火）午後7時00分～8時20分
会場	稲武支所 2F 団体会議室

1 あいさつ

○大内令和3年度副会長

本協議会の発足のきっかけは、道の駅どんぐりの里いなぶが重点道の駅に選定されたこと、そして、これを契機に道の駅を核としたまちづくりを進めていこうというものであった。引き続き、どんぐりの里いなぶを中心としたまちづくりを進めていきたい。なお、この協議会は決定の場ではないが、物事を進めるにあたり、各委員の協力が必要になるのでよろしくお願ひしたい。

○三江弘海顧問

花の季節を迎えているはずだが、いまいち心が晴れないように感じる。やはりコロナウイルスのことや、ウクライナ問題によることと思う。一方では、明るい話題もいくつかある。平成24年から始まった伊勢神改良事業であるが、いよいよ、今後、本体工事が始まる。また、道の駅どんぐりの里いなぶのリニューアルオープンが7月2日に予定されている。稲武のためにベクトルの向きを同じにして、まちづくりの議論が進むことをお願ひしたい。

この後、令和4年度第1回の協議会のため、各委員から一言ずつ挨拶をした。

2 協議事項

(1) 規約改正（令和4年度の組織体制）について

事務局（柴田担当長）から資料に沿って説明。

山田良稲副会長；設立当初から委員を務めており、これまでの経緯も分かっていることから、会長は大内副会長がよいと思うが、皆さんはどうか。

→拍手で承認

大内会長；副会長は会長が指名することが規約で定められているため、藤網委員、山田良稲委員、三江元博委員に副会長をお願ひしたい。

結論：規約改正は承認された。会長は大内政春さんが選任された。副会長は藤網建氏さん、山田良稲さん、三江元博さんが指名された。

(2) 令和4年度まち協の会議開催内容について

事務局（柴田担当長）から資料に沿って説明。

三江元博副会長；まち協としては、山村条例の稲武版を作るようなイメージとして、大きな方向性を出して、活字（形）にすることが大事なのではないかと思う。各委員の活動に対して否定するような話ではなく、情報共有、確認の場としていきたい。

山田良稲副会長；「住み続けられる稲武の地域づくり」が大事だと思う。各委員の取組が、ここに小項目としてぶら下がるイメージだと思う。その取組の中で、各委員からこんな悩みがある・・・という話を出してもらって、これを委員間で共有することが大事である。資料にある「①住み続けられる「稲武」の地域づくり」、「②地域資源等を活かした「稲武」の活力・魅力の向上」について議論することもいいと思うが、情報を共有することが一番大切だと思う。

藤綱副会長；今回から初めて参加するが、これまでの経緯を聞いていると、本協議会の目標はどこにあるのか疑問である。単に、この場で話すだけではなく、地域に情報を下ろしていく必要があるのではないか。

→山田副会長；この協議会で話し合ったことを、区長会長なら区長会で共有してもらうことが大事なのではないか。

→藤綱副会長；口頭だけでは伝わりにくいと思う。何らかの文書で出すべきだと思う。

→杉田委員；事務局で議事録を作成している。市の会議などでは、固有名詞を隠したうえでホームページで公表されたりしているが、同じような形でいいのではないか。

→大島委員；今年度からコミュニティだより「いなぶのかぜ」が廃刊され、新しく「稲武支所だより」が発刊されると聞いているが、そちらに掲載してはどうか。

→杉山委員；今の紙面構成の計画は、4ページを予定しており、まち協の情報を載せようと思うと紙面が足りない。また、仮に支所だよりに掲載する場合、今の発行計画では、2か月に1度の全戸配布を予定しており、スケジュールとしてまち協が開催される前に区長会で配布することになる点も了承いただきたい。

→山田副会長；〇月〇日に、こんな議論をしました、ぐらいのものでよいのではないか。

→古橋真人委員；例えば、QRコードを配布して、限定的な公開にすることもあ

りではないか。

→杉田委員；一般の市民に知らせることが大事だと思うので、限定的な対応は好ましくないのではないか。

結論：まち協の協議内容に関するPR方法については、引き続き協議する。

中村委員；まちづくり構想の話はどう考えるべきか？どこまで範囲を広げるべきか？

→山田副会長；これまでのものはかなりボリュームが多い。個々の事業については、各専門家（各委員）に任せることでよいのではないか。また、各委員の発言をまとめれば、A3資料の1枚なんてすぐにできるのではないか。

→三江副会長；細かく資料を作っていくのは難しいのではないか。

→山田副会長；確認の意味で聞くが、どんぐりの里いなぶが重点道の駅になってからの取組実績をまとめることは可能か？

→事務局（柴田）；可能である。

古橋久三委員；本協議会で出た意見については、各団体において協議して、必要に応じて取り組んでいけばいいのではないか。そうしないと、全部取りまとめて方針を出して・・・では、事務局に負担がかかりすぎてしまうのではないか。また、この協議会で話された内容の全てを公開するのはいかなものだろうか。

古橋真人委員；今日の議論を解決できるわけではないが、地域会議は「個人」の参画による議論であり、まち協は「団体」の参画による議論なのかなと思う。また、これまでのA3のまとめ資料について、次の展開としては、我々委員としてのマンパワーの他、事務局のマンパワーをどうするか、ここのスタンスに対する考え方が、各委員で分かれるところなのではないかと思う、

大内会長；なかなか結論を出すのは難しいため、とりあえず7月までは、どんぐりの里いなぶのリニューアルを中心に協議していくことでよいのではないか。イベント広場の活用方法など共有すべきことがあると思う。

結論：7月のどんぐりの里いなぶのリニューアルオープンまでは、どんぐりの里いなぶに関するを中心に協議する。

また、まちづくりに関する協議内容に関して、着地点のイメージについては、今後も協議する（会長、副会長協議を行う）。

3 各種話題提供について

(1) ワーキング部会、各委員からの報告

横田委員；①5月7日に、ローカルツーリズムとして、三河里旅とコラボした中当トレイルやパンケースのクラフト体験等を組み合わせたガイドツアーを行う。【チラシ配布】

②4月20日に、オープンイナブの年次総会を開催する。

③鈴木県議のインターンの学生の提案を聞いた。内容は「スタディケーション」というもので、大学生が稲武に来て大学生活を送るというものであり、地域に溶けこんで草刈などを体験するものである。とてもおもしろい内容であったため、このまち協で発表してもらってもよいのではないか。

→三江顧問；関係人口創出の点でも、非常に参考になると思う。

三江元博副会長；各委員からもゲストにこんな人を呼んで、という提案があればぜひお願いしたい。傍聴してもらってもよいかと思う。

4 次回開催日

令和4年5月24日（火曜）午後7時～ at 稲武支所団体会議室

<以 上>